

◆三船 浩(みふね ひろし、本名:森田肖三 / 1929.9.28～2005.7.8)

＜歌 手＞

新潟県新井市（現・妙高市）出身。1946（昭和21）年3月卒業。（甲種第25回 / 商業科～機械科）

1951（昭和26）年、NHKのだ自慢で新潟県代表となり関東・甲信越大会で優勝、全国大会で第3位に入賞。新潟放送でのラジオ制作・DJを経験し上京。

1956年（昭和31年）12月、「男のブルース」（作詞：藤間哲郎、作曲：山口俊郎）で豊かな低音の魅力を生かし、キングレコードより歌手デビュー。芸名の三船浩とは、柔道四段の腕前で講道館の三船久蔵十段から命名。当時、フランク永井・神戸一郎・石原裕次郎と共に低音ブームを巻き起こし一世を風靡した。



その後も、「さようなら故郷さん」「東京だより」「夜霧の滑走路」「黒帯の男」「サワーグラスの哀愁」「小樽の赤い灯が見える」「男の酒場」などのヒット曲を放った。また、国産初の連続テレビ映画「月光仮面」の挿入主題歌（曲名：月光仮面の歌）および「豹の眼」の主題歌も歌い、子供達からも支持を得た。NHK紅白歌合戦にも3回出場している（詳細は下記参照）。1995年（平成7年）に最後の作品「大地よ」を発売するまで、526曲のレコーディングを行った。

スポーツ万能、ゴルフもシングル・ハンディ。艶のある高音も特徴の一つで音域が非常に広い。軍歌もレパートリーに多数ある。1991年から1995年まで、日本歌手協会の理事長職を務めた。2005（平成17）年7月8日、心筋梗塞のため東京都府中市の病院で死去。享年75歳。

～創立70周年記念講演会～

1986（昭和61）年10月16日、創立70周年記念式典が挙行された。

式典後、記念講演会が催され、講師として三船浩氏が登壇し、以下の演題で講演した。

【演題】

「プロのころ」

—歌手生活30年をふりかえって—



< NHK紅白歌合戦出場歴 >

年度/放送回	曲 目	対戦相手
1957年(昭和32年)/第8回	男のブルース	松山恵子
1958年(昭和33年)/第9回	夜霧の滑走路	築地容子
1960年(昭和35年)/第11回	サワーグラスの哀愁	織井茂子
<ul style="list-style-type: none"> ・このうち、第8回・第9回は、ラジオ中継の音声が残存する。 ・第8回は三船が歌う姿を撮影した写真も現存する。 		

◆主な曲目

- ◎さよなら故郷さん --- <https://youtu.be/D3C68eGXXp8>
- ◎男のブルース ----- <https://youtu.be/fPTCNuSZjcQ> (YouTube)
- ◎夜霧の滑走路 ----- <https://youtu.be/sH95rrFREq0>
- ◎月光仮面の歌 ----- <https://youtu.be/L3dOQSeKJRc>



◆主な出演

<映 画>

- 『男のブルース』(1958年、日活)
- 『赤いランプの終列車』(1958年、日活)
- 『海賊船 海の虎』(1964年、日活)

<テレビドラマ>

- 『特別機動捜査隊』第404話「待っていた人」(1969年、NET)